

令和7年度第4回宇治市国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

令和8年1月29日（木）14:00～15:00

宇治市役所 8階 大会議室

（出席）宮本会長、森下副会長、池本委員、山口委員、山本委員、吉田委員、幸道委員、金委員、森居委員、高木委員、川野委員、玉井委員、山田委員、小尾委員

星川部長、堀江副部長、大槻課長、永池課長、山口副課長、横山主幹、渡邊係長、青山係長、大西主任、杉山主任、小林主事

（欠席）尾島委員、稲田委員、奥村委員、井上委員、北村委員

（傍聴者）1名

（報道関係）1名

1. 開会

- ・事務局より、「宇治市国民健康保険運営協議会の会議の公開に関する事項」に基づき、会議の公開について報告
- ・事務局より、配付資料の確認
- ・事務局より、会議の成立確認報告

2. 会長挨拶

会 長）前回は、事務局から令和8年度の保険料率について事務局案の提示がありました。事務局案は京都府の標準保険料率どおりに設定するというものであり、標準保険料率どおりに改定すると医療、後期、介護分を合わせた、一人あたりの改定額は1、919円になると説明がありました。また、保険料率については、医療の高度化や被保険者数の減少などにより今後も上昇する見込であり、保険料率の引き下げは一時的な負担軽減にはなりますが、後年度の負担になります。こういった社会状況の不安定な中で、標準保険料率に設定するというのが事務局案でした。これらの意見を踏まえ、保険料率の設定についてご議論いただき、事務局案のとおり標準保険料率で設定することについて委員の合意を得たところです。本日は、前回の議論を踏まえ作成いただいた答申案についてご議論いただくことになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議事

(1) 会議録署名人の選出について

会議録の署名人は、被保険者代表の池本委員、公益代表の玉井委員を選出。

(2) 令和8年度国民健康保険事業の運営について（答申案）

- ・事務局より、資料1「令和8年度国民健康保険事業の運営について（答申案）」について説明

会 長）事務局より答申案及び、要望事項についてご説明いただきました。皆様、初めて目にされますので、ご意見をいただく前に10分ほど資料確認の時間を取らせていただければと思います。

- ・各委員、資料の確認

委 員）京都府が示した標準保険料率とは、宇治市に対して示したものなのか、京都府下の市町村に示したのでしょうか。

事務局）京都府下の市町村に対してそれぞれ示されているものであり、標準保険料率は後々公開されているものになります。

委 員）賦課限度額とは保険料の賦課できる最高の基準を合計しているものとの解釈でよろしいですか。

事務局）その解釈で間違いないです。

会 長）要望事項につきましてもご意見・ご質問はございませんか。

委 員）要望事項に記載されている公正な徴収業務の関連で、今話題になっている、国保逃れですが、対策などはあるのでしょうか。

事務局）加入喪失の手続きの際には社会保険の資格確認をしっかりと行っていますが、実際の働き方や、労働実態を把握するのは難しく、国保逃れの実態をつかむのは難しいものと思われます。社会保険側で加入の際にチェックするものの一つの手ではないかと思われます。

委 員）社会保険と連携が必要になってくるのではないのでしょうか。

事務局) 貴重なご意見として受け止め、検討させていただきます。

会 長) 他にご意見・ご質問はございませんか。

委 員) 宇治市においては、保健事業の周知・広報が少し弱く、より具体的にかつ積極的に進めていってほしいと思いました。

事務局) これまでも個別通知等により周知・広報を進めてきましたが、今後さらに効果的な周知方法を検討していきたいと考えております。

委 員) 外国人被保険者の収納状況はどうなっていますか。

事務局) 正確な収納率は持ち合わせておりませんが、実務上の実感で言いますと宇治市の方で把握している中では、宇治市で報道されているような著しく悪いということはないと認識しております。

4. その他

- ・事務局より、宇治市国民健康保険運営協議会の答申日程について説明

会 長) 最後に、皆様からの意見をまとめ、事務局にお伝えしたいと思います。1点目です。令和8年度につきましても増額改定となりますので、被保険者の皆様に、制度の現状や保険料を抑える取組、減免制度の周知も含めて丁寧な説明をお願いいたします。2点目です。今回は答申案をまとめることができましたが、これからも、被保険者は減少し、医療の高度化により医療費は増加していきます。将来的な安定を考えますと財源確保に向けた方策も改めて考えていく必要があります。3点目です。医療費の適正化に向けては医療サービスを受ける側も特定健診の受診やジェネリック医薬品の活用など、できることから取り組む必要があると思います。つきましては、保健事業のさらなる充実、広報・啓発をお願いいたします。

- ・会長より挨拶
- ・星川部長より挨拶

(閉会)

会議録署名人
